

第2回福島問題予備研究会 議事録案

日時:H27年2月4日(水)13:15-16:30

場所:化学工学会 会議室

出席者:小林, 橋本, 鈴木, 郷, 中尾, 戸井田, 松井, 横堀(記録) (敬称略順不同)

討議資料

#2-1 第2回福島問題予備研究会開催案内(小林浩之)

#2-2 福島問題予備研究会報告(小林浩之)

#2-3 汚染水処理に関する現状の再認識(中尾眞)

#2-4 (私の経験した)化学プロセス開発のプロジェクト管理(小林浩之)

#2-5 汚染水処理プロセス・プラントの防食設計・防食管理(鈴木紹夫)

#2-6 福島問題予備研究会向第2回レポート(郷茂夫)

#2-7 原子力規制委員会の特定原子力施設監視・評価検討会の汚染水処理に関する報告まとめ(戸井田良晴)

議事内容:

1. IRIDとの面談に関わる状況報告(資料#2-2)

IRIDから急遽予定変更の申し入れがあり、関係者の都合を勘案して、2/16(月)13:00を第1希望、2/13(金)13:00を第2希望とする変更案を申し入れることとなった。

2. IRIDとの面談資料についてディスカッション

(1) 中尾準備資料

“汚染水処理に関する現状の再認識(資料#2-3)”の説明があった。討議の結果、IRID面談資料としては、別途資料を準備して“化学工学の一般論”を説明することとなった。説明用資料は中尾氏が準備して事前に関係者にレビューする。

(2) 小林準備資料

“化学プロセス開発のプロジェクト管理(資料#2-4)”の説明があった。IRID面談時としては同資料を基に説明することとなった。何か気づき事項があれば各位から小林氏に連絡する。

(3) 化学工学会としてのできる事

鈴木、郷、戸井田の3氏からそれぞれ説明があった(仔細は資料#2-5～#2-7を参照)。議題1の議論と同様に有益な発言が多数述べられた。(仔細は省略する)

3. 予備研究会の進め方

下記を確認した。

- ・ 2月中にIRIDと打ち合わせる(2/16又は2/13を予定)。
- ・ 当面は化学工学会受け皿として活動する。
- ・ 除染と汚染水浄化に焦点をおく。
- ・ アルプスの状況を各自がそれぞれ調べて議論する。議論の結果は化学工学会を通じてIRID等へ提示する。

4. その他(今後の予定)

2月16(13)日 IRID面談予定

2月16日 福島問題委員会開催予定(IRID面談と重なる場合には中止または変更)

3月3日 第3回福島問題予備研究会(15:00 化学工学会館会議室)

3月20日 震災復興と学協会連携シンポジウム

以上